

少年の主張茨城県大会を開催しました



1979年の国際児童年を契機として始めた少年の主張茨城県大会は、今年で28回目を迎えました。

今年の大会は、牛久市制施行20周年記念事業と併せて牛久市中央生涯学習センター文化ホールで9月30日(土)市内5つの中学校の生徒と県内の育成関係者併せて約1,100名の参加のもとに開催しました。

発表者は、県内117校の17,660名の中から選ばれた10名の中学生が、家庭、学校、地域社会などでの体験を通して得たことや友人、仲間との関わりの中で日頃考えていることを自分の言葉で力強く発表し、聴衆者に深い感銘を与えました。

また、地元中学生の皆さんが、司会や開会、閉会のことば、アトラクション、会場誘導など様々な場面で活躍

し、いきいきと活動している中学生の姿を皆さんに見ていただきました。

茨城県大会発表者

賞	学校名 学年 氏名	発表主題
茨城県知事賞 水戸西LC会長賞 優秀賞	筑西市立下館中学校3年 仁平裕一	苦しい時は 前進している
茨城県議会議長賞 優秀賞	水戸市立双葉台中学校2年 萩野谷大志	勇気について 考えること
茨城県教育委員会 教育長賞・優秀賞	土浦市立土浦第一中学校3年 寺内理美	母の一言
優秀賞	取手市立取手東中学校2年 穴田彩乃	花より空き缶?
優秀賞	那珂市立瓜連中学校3年 岡崎翔太	仁の心を重んじよ
優秀賞	筑西市立明野中学校3年 亀山由利	命あるもの
優秀賞	牛久市立牛久第一中学校3年 小林未来	テクノロジーとの 共同生活
優秀賞	城里町立桂中学校3年 齋藤美月	祖父の生き方に 学んだこと
優秀賞	石岡市立府中中学校3年 鈴木晴香	一人一人が意識して
優秀賞	ひたちなか市立那珂湊中学校3年 西宮亜也加	大人と子供の境界線で

主張発表文と大会の様子はホームページでご覧になれます。

未成年者喫煙防止街頭キャンペーン



社会環境浄化活動として7月と11月に日本たばこ産業(株)水戸支店、青少年育成市町村民会議、茨城県青少年相談員連絡協議会、茨城県更生保護女性連盟、行政機関等と一緒に6つの主要駅でキャンペーンを行いました。

安全・安心なまちづくりキャンペーン

全国で尊い幼い命が奪われる事件が連続して発生しました。本県でも連れ去り事件に発展する恐れのある事案等が多数発生し子どもの安全が脅かされる状況が続いていました。このため、6月15日開催の第38回通常総会で「子どもの安全を守るための緊急アピール」を決議しました。(ホームページでご覧になれます。)

このことを踏まえ、茨城県、茨城県安全なまちづくり推進会議等が主催するキャンペーンに積極的に参加しました。

青少年育成市町村民会議会長・事務局長等研修会

地域に根ざした青少年育成活動を展開するため、7月14日(木)～15日(金)大洗シーサイドホテルで開催しました。

青少年育成国民運動40年の歩みを振り返り、今、指導者のなすべきことを考え、そして青少年育成市町村民会議の活性化の方策についての研究協議等を行いました。

青少年心理アドバイザーを派遣しています

青少年を取り巻く環境が大きく変化し、大人と青少年の間には、考え方やライフスタイルにギャップが生じています。

青少年の理解と接し方を普及する

ため、青少年心理学専門の大学の先生や県スクールカウンセラーなど26名の方に「青少年心理アドバイザー」として登録していただき、17名の方に地域で開催される研修会へ講師として出向いていただきました。

アドバイザーを派遣しますので、詳しいことは青少年育成茨城県民会議にお問い合わせください。

